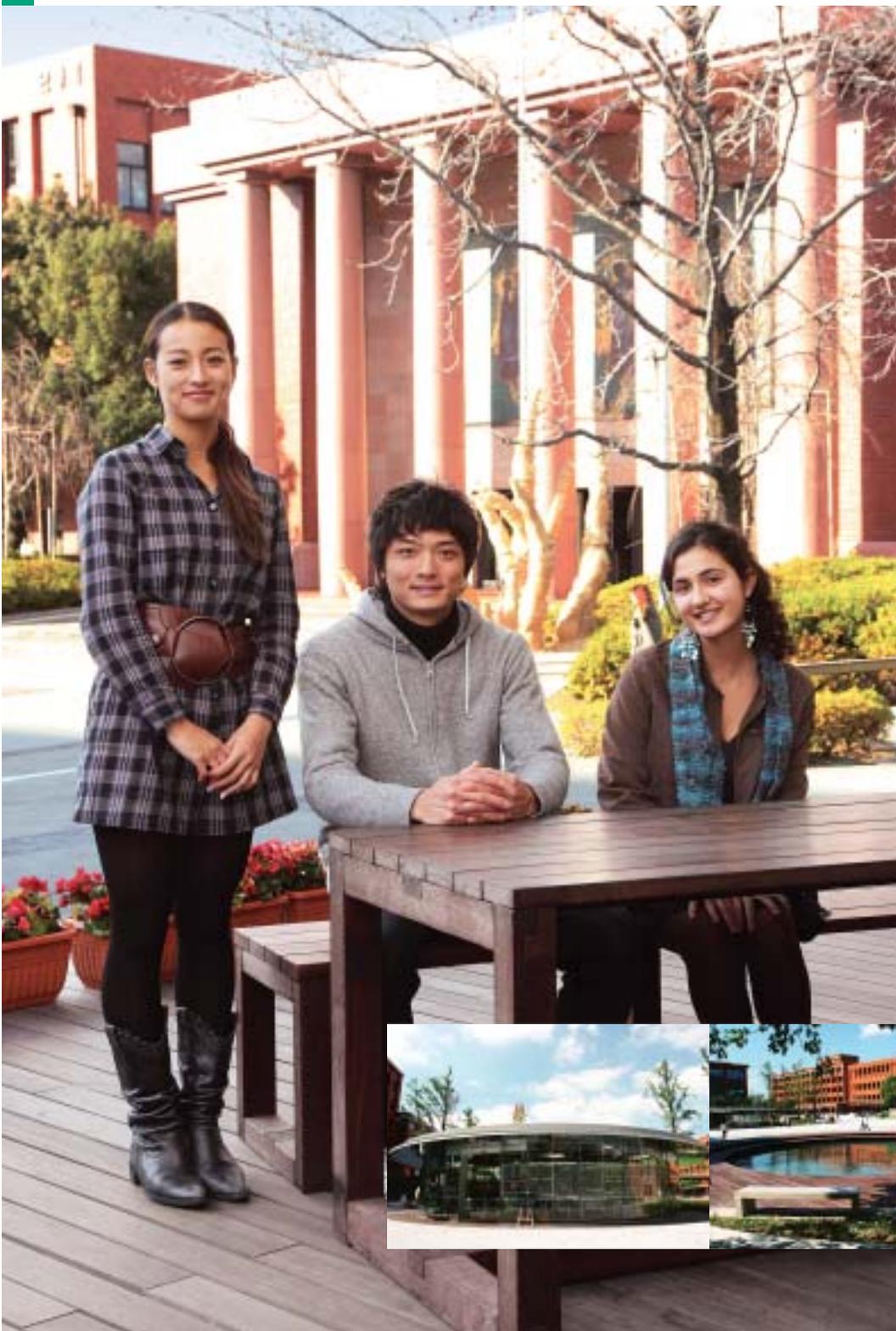


UNIVERSITY CONSORTIUM KYOTO



財団法人 大学コンソーシアム京都
The Consortium of Universities in Kyoto
URL <http://www.consortium.or.jp>



新春メッセージ

特集 1

第5回

政策系大学・大学院研究交流会
～京都から発信する都市政策～

特集 2

高大連携接続事業レポート

第7回 高大連携教育フォーラム
京都の大学「学び」フォーラム2009
2009年度共同広報事業

特集 3

新しい発見や出会いを求めて
単位互換制度を利用しよう!

TOPICS

PROJECT REPORT

Information

近日開催予定の行事・イベント

「第15回FDフォーラム」開催のご案内

2010.1 No.37



「知恵」と「力」の結集で 「大学のまち」「学生のまち」の更なる発展を



京都市長
門川 大作

新年おめでとうございます。財団法人大学コンソーシアム京都、並びに大学関係者の皆様の御隆盛を心からお祈り申し上げます。

京都は全国随一の「大学のまち」「学生のまち」である。大学コンソーシアム京都の活動をはじめ、各大学や、学生の皆さんの意欲的な取組・活動に触れ、共に行動する中で、改めてその思いを深めています。

そして、京都のまちでは、「京都」+「大学、学生」ではなく、「京都」×「大学、学生」となって、大きなまちのパワーを生み出していることにも感動しています。

近年、大学、そして京都のまちは、様々な困難な課題に直面しています。そうした中で、各大学、地域、産業界、行政等が連携し、知恵と力を結集していくことが一層重要になっています。ピンチの今こそ、「大学のまち京都・学生のまち京都」の底力を発揮するチャンスととらえ、皆様と共に果敢に課題に挑戦して参りたいと思います。

さて、市長就任1年10箇月、市民の皆様と共に汗する「共汗」と、行政の縦割りを打破した政策の「融合」により、厳しい財政状況の中ですが、マニフェストで市民の皆様とお約束した124の事項の9割以上に既に着手致しました。新たな「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画」の策定(昨年2月)・推進をはじめ、多くの皆様にお力添えをいただいた賜物と、心から感謝しております。

今年は、「キャンパスプラザ京都」が10周年を迎えます。さらには、1階をリニューアルして「学生の活動拠点」とするなど、「大学のまち京都・学生のまち京都」のシンボル施設としての機能を、更に充実する計画も進めています。

引き続き皆様と力を合わせ、優れた学びのフィールド、学生の皆さんが夢を持って活躍できるフィールドとして、京都のまちをますます輝かせたいと思います。

本年もよろしくお願い致します。

大学コンソーシアム京都の新たな一歩!



財団法人 大学コンソーシアム京都
理事長 八田 英二

新年明けましておめでとうございます。新たな年を迎えるにあたり、皆様方のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

“大学冬の時代”といわれて久しいですが、大学をはじめとする高等教育機関を取り巻く環境は急速に厳しさを増しています。昨年は、昭和30(1955)年頃から始まった長期の自民党政権から、民主党へ政権交代が行われ、とりわけ平成22(2010)年度の予算案に関する行政刷新会議の事業仕分けが大きな注目を浴びました。高等教育界でも、文部科学省の予算縮減を受け、大きな影響が出てくることは言うまでもありません。昨今、「日本の高等教育力の低下」が叫ばれ、メディアにも頻繁に取り上げられているのも、高等教育の質に対する厳しい評価を反映しているのではないのでしょうか。

2009年(平成21年)度入学試験動向においては、日本私立学校振興・共済事業団の調査結果では、私立の4年制大学の46.5%(265校)が入学定員未充足であること、入学者が定員の50%以上100%未満の学校数が234校、50%未満は31校となったようです。大学全入時代の到来と大学淘汰を実感せずにはおられません。

我々大学コンソーシアム京都の加盟大学・短期大学のある京都・大阪地域の定員充足率は東京地域など主要地域に次いで高くなっていますが、規模別でみると小規模大学・短期大学ほど定員充足率が低い状況となっています。当財団加盟大学・短期大学は、中小規模の大学・短期大学が多いので、今後更に、大学コンソーシアム京都を中心とした「京都ブランド」の確立に向けた取組や、各加盟大学・短期大学の改革の一助となる取組の推進が求められていると考えております。

このような状況の下、大学コンソーシアム京都は、財団全体の中期事業計画である「第3ステージプラン」を平成

21(2009)年度から開始し、さらに京都市と協働で策定した「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画」においても、「各加盟大学・短期大学の個性・魅力を最大限活かしながら連携することにより可能となる先駆的な事業に選択・集中し、京都全体の質を高め、『大学のまち京都』の魅力を国内外に発信していく事業を展開すること」とし、ミッションとフレームワークを次のとおり定めました。

ミッション

『大学のまち京都』ならではの新しい
地域連携モデルを活かした高等教育の質の向上

フレームワーク

地域性を活かした大学間連携による
教育の質の向上と新たな教育プログラムの開発
「大学のまち京都」をリードする学生の育成
教育力向上のためのFD・SD事業の充実と
地域ネットワークの推進
加盟大学・短期大学の個性・魅力を活かした
機能的な「ミニ・コンソーシアム」の形成
「京都・ワンキャンパス」の国内外への発信
京都高等教育研究センターでの
共同研究による京都の魅力の追及

これを受け、平成21(2009)年度には、平成20(2008)年度の2件の採択に引き続き、「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」に、京都の大学が連携する取組として「多面的な国際交流の充実と高等教育の質向上に向けた国際連携プログラム開発」が採択されました。これは、個別大学間の交換留学協定制度を、複数大学対複数大学間における協定に拡大し、教員や職員の研修・交流等を含んだ広範囲な交流連携内容に充実することにより、京都地域の高等教育の国際競争力の向上や教員の質の保証と向上を目指すもので、本財団の第3ステージプランに掲げている取組でもあります。

今後も、大学コンソーシアム京都は「京都地域を中心に、大学間連携と相互協力を図り、加盟する大学・短期大学の教育・学術研究の向上や、学生の育成、国際化の推進等に対する取組を行うと同時に、地域社会や産業界との連携による地域の発展・活性化や、京都地域を中心とした高等教育の発展と国際社会をリードする人材の育成」を目指し、各事業を推進してまいります。

また、このような取組を進めることは、国の政策方針や地域の活性化に添うものと核心しております。

今後も引き続き、多くの方々に大学コンソーシアム京都の設立趣旨にご賛同戴き、これまで以上のご支援とご協力を賜りたくお願い申し上げます。

第5回政策系大学・大学院研究交流大会 ～ 京都から発信する都市政策～

【日時】2009年12月6日(日)10時～19時30分

【場所】キャンパスプラザ京都

政策系大学・大学院研究交流大会とは...



本大会は都市の抱える問題・課題を見つけ、それを解決するための「都市政策」を学ぶ学生・院生の研究交流・発表の場として2005年度より開催しています。日ごろの研究成果を発表するだけでなく、交流を深めることにより研究を深化させることを目的としています。また、一般の方にもご参加いただき、学生の発表といういつもとは違う視点から都市をみることで、普段は見過ごしがちな身近な問題に気付く場を提供いたします。

当日は、学生・院生をはじめ、地方自治体職員、一般の方など500名以上の参加をいただくとともに、64組の学生・院生のグループから、学生の視点から見た都市の抱える課題について、解決のための政策提言が行われました。

プログラム

口頭発表

パワーポイントなどを利用して口頭で発表を行いました。発表テーマに応じて、環境、まちづくり、文化・観光など8分野に分かれ、多様な研究テーマでの発表が行われました。審査員からの質疑応答だけでなく、会場とも意見交換がなされるなど活発な研究交流が行われました。



パネル発表

パネルに研究内容を掲示して発表を行いました。審査時間には、多くの来場者が会場に押し寄せ、パネル発表の利点でもある、審査員や来場者とも近い距離での質疑応答、情報交換などが活発に行われました。



学生企画

『それって問題とちゃうの!? 京都の観光地における交通事情』

京都の観光地で起きている交通問題をテーマに、観光地において公共交通が果たす役割について学生・京阪電気鉄道株式会社・京都市の3者で、問題解決に向けてパネルディスカッションを行いました。交通渋滞等の問題に対する京都市・京阪電気鉄道株式会社それぞれの取り組みをお話しいただいた上で、今後の京都の観光地における公共交通のあり方について意見交換を行いました。



パネラー ・京阪電気鉄道株式会社鉄道企画部課長 前田 勝氏
 ・京都市都市計画局歩くまち京都推進室計画推進課長 宮崎 秀夫氏
 ・学生実行委員(立命館大学政策科学部2回生) 藤川 祐輔

コーディネーター ・学生実行委員 (龍谷大学法学部4回生) 赤田 博幸

懇親会・表彰式

研究を通じた交流だけでなく、懇親会という場を通じた交流も図っています。参加者の方には、おいしい料理を囲みながら、懇親を深めていただきました。

また、表彰式では、当日発表された研究のうち、特に優秀と認められた研究に対し、研究奨励賞が授与されました。



研究奨励賞	大学名	氏名	テーマ	
京都府知事賞	龍谷大学大学院	渋井 満	「循環型」音楽産業振興政策の可能性～地域における職能教育を軸とした音楽政策の提案～	
	京都産業大学	高橋 昌未	児童虐待の予防・発見に向けて	
京都市長賞	立命館大学大学院	金 斗元	環境クズネット曲線と後発者利益	
	立命館大学	鈴木 皆人	日本における後発医薬品普及促進への政策的課題と方向性～制度変革に関する取引コスト節約の必要性～	
大学コンソーシアム京都理事長賞	龍谷大学大学院	橋詰清一郎	包摂型まちづくりと安全・地域魅力マップの理念と手法～セーフコミュニティ活動による京都府亀岡市での事例をふまえて～	
	立命館大学	八木 千佳	環境・福祉からみるデンマークのユーザー・デモクラシー社会	
日本公共政策学会賞	立命館大学	平林 祐介	“らしさ”の発見!ローカル・アイデンティティによる観光地ブランド化の有効性～二寧坂地区を事例として～	
	立命館大学	藤川 祐輔	京都のまちなかにおける課題	
優秀賞	口頭発表	同志社大学大学院	坂本 聡	農事法人「新庄わいけい楽舎」を基盤とした地元小学校による「農村環境保全活動」について
		龍谷大学	樫本 昌子	低炭素社会と中山間地の再生～環境モデル都市梶原町から考える～
		立命館大学	飯沼 卓也	離島における空き家を使った移住者受け入れシステムを考える
		同志社大学	佐藤 勇太	京都オリンピック～スポーツでつなく市民の輪～
		佛教大学	西村 真奈	今治市の学校給食
	パネル発表	立命館大学	近重佑太郎	小さな島の大きな希望～日本最南端ベスマへの提案～
		龍谷大学	齊藤 英之	中小企業の発展メカニズム～若い企業家を生み出す社会を形成するには～
		龍谷大学	渡部 巧也	TAKE action(竹から行動)～八幡市における放置竹林のケーススタディから学ぶ、竹林再生と竹の有効活用～
		立命館大学	富田 崇文	日韓の若者における意識調査から見る互いの国の大衆文化の受容のされ方
		立命館大学	安田 優希	『タイスラム問題の解決』

学生実行委員会



本大会は、学生実行委員会が企画・運営をしています。今年度は、本財団加盟大学の政策系の大学から13人の学生が選出されました。

学生実行委員は、広報(参加者や発表者募集のためのチラシ・ポスターの作成)、当日の運営、学生企画の企画運営をしています。



第7回 高大連携教育フォーラムが開催されました！

2009年12月4日(金)、キャンパスプラザ京都において、大学コンソーシアム京都が加盟する「京都高大連携研究協議会」主催により、「第7回 高大連携教育フォーラム」が開催されました。北は東北地方から南は九州地方まで、全国各地から高校教員や大学教職員、一般企業の方を中心に、189名の参加申し込みがありました。また、学生の参加も見られ、高大連携・接続教育に対する関心の高さが窺われました。



7回目を迎える今回は、「高大連携から接続教育への視座～高大で考える『生きる力』の育成～」をメインテーマに掲げ、新学習指導要領でも大きく取り上げられている「生きる力」に着目し、報告と議論を進めました。なお、第6回の本フォーラムから3部構成となり、第1部は基調講演を、第2部はキャリア教育および入試という全校・全学的なテーマにて分科会を、第3部は教科・科目にテーマを細分化して分科会を開催し、多くの会に参加いただけるようになっています。各会とも高校・大学の現場から貴重な報告がなされ、また、報告に基づき活発な意見交換等が繰り広げられました。参加者からは「新たな視点に気づかされた」「刺激を受け、今後の活動意欲が沸いた」等の感想が寄せられ、好評のうちに幕を下ろしました。

第1部

開会挨拶 | 北村 聡(京都高大連携研究協議会運営委員長、京都外大西高等学校 校長)
コーディネーター | 棕本 洋(大学コンソーシアム京都 高大連携推進室室長、立命館大学 教授)

基調報告 高大連携でつくる新たな進路指導～将来を自らデザインする力を養うために～

基調報告 | 塩瀬 隆之(京都大学 准教授)

シンポジウム 高大連携から接続教育への視座～高大で考える「生きる力」の育成～

パネリスト | 前田 隆芳(洗足学園中学高等学校 校長)
中田 俊隆(立命館大学 理工学部副学部長)

事例報告 実践研究共同教育プログラム「化学における仮説の探究」から

報告者 | 田内 浩(京都府立山城高等学校 教諭)

第2部

分科会 A 【キャリア】 高大におけるキャリア教育の現状と接続にかかわる教育課題

報告者 | 易 寿也(大阪府立松原高等学校 校長)
遠藤 泰久(京都工芸繊維大学 教授)
コーディネーター | 中川 正明(京都産業大学 ディレクター)

分科会 B 【入試】 センター入試の現状と課題

報告者 | 服部 雪法(滋賀県立国際情報高等学校 教諭)
内村 浩(京都工芸繊維大学 教授)
コーディネーター | 岡本 直輝(立命館大学 教授)

第3部

第1分科会 【表現技法】 日本語表現法教育の接続と連携～高大教育現場で共有できるもの～

報告者 | 松澤 剛(北海道札幌藻岩高等学校 教諭)
手嶋 英貴(大阪女学院大学 非常勤講師)
コーディネーター | 筒井 洋一(京都精華大学 教授)

第2分科会 【数学】 生徒・学生の現実から出発する高大接続

報告者 | 植田 隆巳(大阪府立大手前高等学校 教諭)
西川 泰行(大阪工業大学 特任教授)
コーディネーター | 酒井 淳平(立命館宇治高等学校 教諭)

第3分科会 【英語】 異文化理解と海外研修旅行～授業改善に向けた高大連携について～

報告者 | 平尾 悟史(京都府立東宇治高等学校 教諭)
松本 真治(佛光大学 准教授)
コーディネーター | 吉川 孝(京都府教育庁 指導主事)

第4分科会 【理科】 高大で考える自然科学リテラシー

報告者 | 有本 淳一(京都市立塔南高等学校 教諭)
村上 忠幸(京都教育大学 教授)
コーディネーター | 大窪 英行(京都市教育委員会 指導主事)



■ 京都の大学「学び」フォーラム2009を開催しました!

2009年6月と10月に京都の大学「学び」フォーラム2009を開催しました。このフォーラムは、京都地域全体の高大接続事業として2002年度よりスタートしたイベントで、今年も各地の高校生や保護者、高校教員を対象に京都の大学の特色ある模擬講義や体験型講座、大学の個別相談等を実施しました。参加した高校生・保護者・高校教員などからは、「大学選びの参考になった」、「講義内容が非常に面白く、参加してよかった」、「今後の進路に役立った」など高い評価をいただきました。

日程	地域	会場	参加数
6/14(日)	滋賀	立命館大学 びわこ・さつキャンパス	403人 (生徒267、保護者136)
10/4(日)	福知山	京都創成大学	430人 (生徒385、保護者45)
10/31(土)	京都	大谷大学	1,925人 (生徒1,812、保護者113)

【おもな企画】模擬講義、体験型講座、個別相談コーナー、キャンパスライフ紹介コーナー、保護者対象講座、キャリアデザイン講座、入試対策講座、高校教員対象講座、スタンプラリー、おどり企画など

模擬講義の様子



体験型講座の様子



- 「学び」フォーラム模擬講義概要や生徒からの感想文を掲載するサイト -

Kyoto
模擬講義 **Navi**

サイト名:Kyoto模擬講義Navi

昨年度と今年度に関講しました模擬講義の概要が、京都の大学「学び」フォーラムのホームページからご覧いただけます。開催会場別に、模擬講義テーマやシラバス、高校生からの感想文などを掲載しています。

■ 2009年度共同広報事業報告

「大学・学生のまち京都」には、いろいろな大学の講義を受講できる「単位互換制度」や大学を越えて学生が交流する「京都学生祭典」など、他地域にはない魅力と楽しさがあります。



◆ 「京都ワンキャンパス」の企画・実施

「大学・学生のまち京都」の魅力を全国の高校生、保護者、高校の先生方に伝えるために京都の大学・短期大学がまとまり、「京都ワンキャンパス」として共同広報を行っています。

7/4(土)	東京会場	日本武道館
7/5(日)	名古屋会場	吹上ホール
7/19(日)	大阪会場	大阪城ホール

◆ その他の地方での相談会への参加・出展

大学コンソーシアム京都から「京都の大学情報コーナー」ブースを出展し、各地方出身の学生の協力を得て、高校生・保護者と語り合いました。

5/8(金)	松山会場	松山市総合コミュニティセンター
5/24(日)	新潟会場	朱鷺メッセ
6/1(月)	岡山会場	岡山コンベンションセンター
6/9(火)	熊本会場	ホテル日航熊本
7/12(日)	京都会場	みやこめッセ
7/18(土)	静岡会場	ツインメッセ静岡
7/18(土)	福岡会場	福岡国際センター
8/22(土)	仙台会場	仙台サンプラザホール
9/13(日)	広島会場	広島グリーンアリーナ

これら全国各地での相談会の機会を使って、今年は各県の高校を訪問。全国96高校の進路指導教諭と懇談して広報誌「学びスタイル」の普及にも取り組みました。

単位互換制度って?!

単位互換制度とは、他大学の科目を履修し、修得した単位が所属大学の単位として認定される制度です。学生の幅広い関心と興味に応じて、文化、芸術、政治、経済、自然科学などさまざまな学問分野にわたる科目を10テーマに分類し提供されています。自分の専攻を深めたい人、いろいろな可能性にチャレンジしてみたい人、自分の大学にない分野の科目を学んでみたい人など毎年さまざまな動機で多くの学生が履修しています。

2009年度は京都地域を中心に46大学・短期大学(以下、特に断らない限り短期大学も含め大学と記します)が単位互換包括協定を締結し、504科目が提供されました。みなさんもぜひ単位互換制度を利用してみてください!きっと新しい発見や出会いがあることでしょう!

単位互換履修生募集ガイドを入手しよう!

単位互換包括協定を締結している大学に在籍する学生は、所属大学の許可があれば、誰でも出願資格があります。まずは、3月下旬発行予定の『単位互換履修生募集ガイド』を入手しましょう。履修計画をしっかりと立て、自分の受けた科目を登録します。出願登録の時期は、3月下旬から4月初旬です。大学によって出願登録期日や取り扱う志願票、手続方法が異なるので、注意してください。

単位認定可能な科目、認定可能な単位数の上限は所属大学によって異なります。詳細は、所属大学の教務窓口または所属大学で開催される履修ガイダンスなどで確認してください。

追加登録について

受講機会の拡大のため集中科目(夏期)・後期科目の受講定員に余裕がある科目については、6月初旬に「追加登録」を実施しています。

提供科目・履修者数等

年度	包括協定大学数	提供科目数	出願者数	履修者数
2009年度	46大学	504科目	7,804名	6,899名

提供科目分類内訳

単位互換科目はわかりやすいA~Jの10分類にテーマ分けして、科目を提供しています。

	テーマ	提供科目	プラザ科目	オンキャンパス科目
A	京都を探る	23	12	11
B	歴史と文化に触れる	86	11	75
C	美の世界に触れる	37	4	33
D	文学の世界に触れる	9	0	9
E	ことばの魅力を知る	43	10	33
F	いのちと人間を考える	69	15	54
G	教育とは...何だろう	25	5	20
H	自然に学ぶ	47	6	41
I	環境と暮らしを考える	43	7	36
J	現代社会を知る・考える	122	18	104
	合計	504	88	416



単位互換制度Q&A

Q1 単位互換制度の利用条件は?

「単位互換包括協定」を締結している大学に在籍する学生なら所属大学の定める範囲において、誰でも単位互換科目を受講できます。約8,000名の学生が利用しています。

Q2 受講料って必要?

受講料は無料です(科目によっては、実習費や教材費が必要な場合もあります)。

Q3 開講期間や授業時間ってどうなっているの?

授業を受けるそれぞれの大学での「時間割」になります。所属大学と同じとは限らないので、登録するときには、注意が必要です。開講期間は原則としてセメスター制で、前期・集中・後期・通年科目があります。夜間時間帯や土曜日・夏期集中等、多様な形態で開講されます。

Q4 受講科目数や単位の制限ってあるの? 卒業単位として含まれるの?

どの科目を合計、何科目・何単位まで受講できるのか、また卒業単位に含まれるのかは、大学によって取り扱いが異なります。単位互換制度についての質問は、所属大学の単位互換制度担当窓口(教務課や学部事務室)にお尋ねください。

Q5 京都以外の大学の授業も受講できるの?

2009年度は、早稲田大学から夏期集中の科目提供を受けています。これは、長期休暇を利用して履修できます。大阪府高槻市に平安女学院大学や大阪医科大学のキャンパスがあります。滋賀県にキャンパスのある大学は、成安造形大学、立命館大学(びわこ・くさつキャンパス)・龍谷大学(瀬田学舎)です。また、2010年度から昭和女子大学、昭和女子大学短期大学部(東京都)が、包括協定校に加わる予定です。

単位互換制度の特徴ある科目・履修方式を紹介!

500以上ある科目からどの科目を履修すればよいかわからないという皆さんのために、特徴ある科目をピックアップします。

コーディネイト科目

現代社会が抱える様々な問題を考える時、一分野からのアプローチだけでは、不十分なことは言うまでもありません。その問題について多角的な視点から捉えることが重要です。大学コンソーシアム京都では、そのような要請に応え、複数の研究者の視点を学んだり、行政や企業の最前線の当事者から最新情報を学ぶ「21世紀学分野」や地元の大学ならではの京都を多角的に研究する「京都学分野」において、大学コンソーシアム京都が各大学と協力して開設している科目群です。

2009年度科目例

歴史・観光都市としての京都文化【京都商工会議所協力講座】: 京都産業大学
 京都の歴史と文化遺産: 京都橘大学
 人文科学総合講座特殊講義「文化遺産防災学」: 立命館大学
 政策トピックス - 入門: 都市政策 - : 同志社大学
 宗教と倫理 - イスラーム・ユダヤ教・キリスト教・ヒンドゥー教・仏教 - : 龍谷大学
 東洋医学とアンチエイジング: 明治国際医療大学

低回生受講推奨科目

低回生受講推奨科目は、主として低回生(短期大学生及び四年制大学1・2回生、六年制大学1・2・3回生)にとってニーズの高い科目を特定講時に集中して開設することを通じ、単位互換制度が低回生にとっても魅力あるものになることを目的としています。具体的な開講テーマについては、(1)キャリア科目、(2)外国語科目、(3)接続・導入教育科目の3テーマとし、主に夏期集中、春・秋学期の土曜日に開講されています。

2009年度科目例

インターンシップ入門: 同志社大学
 使える語彙・英文法(Integrated Skills Workshop)
 [高大連携]: 京都外国語大学
 英語特講A・B: 京都経済短期大学

海外研修科目

学習の形態は教室内での講義や演習だけにとどまるものではありません。単位互換科目では、海外で一定期間の研修を行い、その成果を単位として認める海外研修科目も提供しています。一般の海外旅行とは異なり、あくまでも大学授業の一環として、海外研修出発前にはその研修先のある程度の知識を事前に学習し、担当教員が同行する研修旅行によって、その知識を実地にて深めるプログラムとなっています。

2009年度科目例

中国の宗教と文化: 大谷大学
 国際文化交流論・国際文化交流実習: 成安造形大学
 [研修先: フィレンツェ、ローマ、パリなど]
 フィールドワーク5(海外美術研修): 大阪成蹊大学芸術学部
 [研修先: イスタンブール、イズミール、アテネなど]

教職科目

京都教育大学から教職免許取得に直結する科目の提供を受けています。教職科目は所属の大学でしか従来受講できませんでしたが、「第二の選択肢」として単位互換制度に科目提供されています。

この科目分類については、採用していない大学もありますので、出願に際しては、事前に所属大学教職免許窓口にご相談してください。

パッケージ履修

500以上ある科目の中からどの科目をセットで受講するとより理解が深まるかをわかりやすく提示するため、「パッケージ履修制度」を設けています。パッケージ分野について基礎的・総論的なことを学ぶ「コア科目」とパッケージ分野の各領域の発展的・専門的なことを学ぶ「オプション科目」の分類を行い、体系的な知識・学習の促進に役立ててもらっています。

2009年度は、「京都学」「環境学」「多文化コミュニケーション」「アカデミックスキル<学びの技法>」「キャリア形成」の5分野で実施しました。

大学コンソーシアム京都 単位互換制度利用大学

【国立大学】京都大学 / 京都教育大学 / 京都工芸繊維大学
 【公立大学】京都府立大学 / 京都府立医科大学 / 京都市立芸術大学
 【私立大学】池坊短期大学 / 大谷大学 / 大谷大学短期大学部 / 華頂短期大学 / 京都外国語大学 / 京都外国語短期大学 / 京都学園大学 / 京都経済短期大学 / 京都光華女子大学 / 京都光華女子大学短期大学部 / 京都嵯峨芸術大学 / 京都嵯峨芸術大学短期大学部 / 京都産業大学 / 京都女子大学 / 京都女子大学短期大学部 / 京都精華大学 / 京都西山短期大学 / 京都造形芸術大学 / 京都橘大学 / 京都短期大学 / 京都ノートルダム女子大学 / 京都文教大学 / 京都文教短期大学 / 京都薬科大学 / 種智院大学 / 成安造形大学 / 聖母女学院短期大学 / 同志社大学 / 同志社女子大学 / 花園大学 / 佛教大学 / 平安女学院大学 / 平安女学院大学短期大学部 / 明治国際医療大学 / 立命館大学 / 龍谷大学 / 龍谷大学短期大学部 / 大阪成蹊大学芸術学部 / 大阪医科大学 / 早稲田大学

2009年度現在

2010年度からの変更について

・京都短期大学が成美大学短期大学部へ校名変更されます。

・昭和女子大学・昭和女子大学短期大学部(東京都)が単位互換包括協定に新たに加わる予定です。

2010年度『単位互換履修生募集ガイド』の配布について

2010年度『単位互換履修生募集ガイド』の配布は、3月下旬からを予定しています。各大学の教務課窓口を通じて入手してください。

出願時期は、4月初旬までです。大学によって出願期間が異なりますのでご注意ください。

お問い合わせ・連絡先

財団法人大学コンソーシアム京都
 教育事業部 電話: 075-353-9120

高等教育研究推進事業部

高等教育研究事業

◆第7回SDフォーラム

- 【テーマ】教育の質向上を支える職員の職能開発
 【日時】2009年10月18日(日)10:00～17:15
 【場所】キャンパスプラザ京都
 【参加人数】226名
 【基調講演】戦略経営、教学マネジメントの確立と職員の開発力育成
 篠田 道夫氏(日本福祉大学常任理事)
 【分科会】A:入試広報における職員の職能開発-アドミッションズオフィサーとしての役割
 出光 直樹氏(横浜市立大学アドミッションズセンター大学専門職(学務准教授))
 B:教育付加価値日本一をめざして 職員の役割
 福田 謙之氏(金沢工業大学事務局長)
 C:企業や地域との連携プロジェクトによる人材育成
 乾 明紀氏(京都造形芸術大学芸術学部准教授/プロジェクトセンター副センター長)
 D:社会が求める人材とキャリア教育の組織的取り組み
 足立 寛氏(立教大学総長室調査役)
 E:大学の教学マネジメントにおけるIR
 鳥居 朋子氏(立命館大学教育開発推進機構教授)
 F:これからの大学を支える職員像と横浜国大職員塾の試み
 村田 直樹氏(独立行政法人日本学術振興会理事)

◆大学みらい塾(旧名:職員のための大学セミナー)

- 【場所】龍谷大学 大宮キャンパス
 【参加人数】239名

第1回	11月7日(土) 14:00～16:00	テーマ:大学の経営、財務と会計 講師:藤田 幸男氏(早稲田大学名誉教授)
第2回	11月14日(土) 14:00～16:00	テーマ:大学ガバナンス 講師:両角 亜希子氏(東京大学大学院教育学研究科講師)
第3回	11月28日(土) 14:00～16:00	テーマ:大学のリスクマネジメント 講師:小林 誠氏(株式会社インターリスク総研開発部長(首席研究員))
第4回	12月5日(土) 14:00～16:00	テーマ:求められる職員力～「大学の実力」調査から 講師:松本 美奈氏(読売新聞社教育ルネサンス、大学の實力担当記者)

学生交流事業部

学生交流事業

◆第7回京都学生祭典

第7回京都学生祭典は様々な方のご支援・ご協力をいただき、10月10日(土)、11日(日)の全てのプログラムを無事実施することができました。今年初めて実施した「KYO-SENSE博」では、「次世代のライフスタイルの発信」をテーマに、企業・NPO団体・学生・行政のエコな取り組みの紹介や体験ブースを展開し、多くの方々に足を運んでいただくことができました。また、平安神宮境内で行ったGrand Finaleでは、テレビ企画から生まれたアイドルユニット「新選組リアン」の登場や、京炎みこしと京炎 そでふれ!のコラボレーション企画を行い、最後は6,000人の「京炎 そでふれ!」総おどりで京都学生祭典を華しく飾りました。2日間の本祭をとおして過去最高の227,000人もの方々に来場いただきました。



開催概要

- 【日時】2009年10月10日(土)13:00～18:00
 11日(日)11:00～20:30
 【場所】<1日目>京都駅ビル
 <2日目>平安神宮・岡崎公園一帯
 【総来場者数】10月10日(土)京都駅ビル.....28,000名
 10月11日(日)平安神宮・岡崎公園一帯...199,000名
 計227,000名
 【実行委員・おどり手・担ぎ手数】
 実行委員数:45大学 5専修学校 667人(短期スタッフ含む)
 『京炎 そでふれ!』おどり手:26大学 557人
 『京炎みこし』担ぎ手:25大学 132人

52大学 5専修学校 1,356人

- 【受賞者】Kyoto Student Music Award 全国学生音楽コンテスト/総エントリー数:204組
 グランプリ:もつろオーケストラ ESPエンタテインメント・甲陽音楽学院
 第2位: Dodico. 大阪市立住吉商業高等学校
 第3位: 笑音(ワライオン)神戸大学
 KSMA.jp賞: Dodico. 大阪市立住吉商業高等学校
 Web投票で1位を獲得した出場者
 京炎 そでふれ! 全国おどりコンテスト(総エントリー数約120団体、約2,500名出場)
 <ノンジャンル部門>
 第1位: 京都明徳高等学校ダンス部(京都明徳高等学校)
 第2位: ピンクチャイルド(大阪)
 第3位: 舞style(立命館大学)
 審査員特別賞: 太鼓伝創の会「つぶて」(兵庫)
 : Lollipop&miniBL(京都)
 小中学生が過半数を占める団体に対し、贈る賞

<京炎 そでふれ!部門>

- 第1位: 京炎 そでふれ!「彩京前線」～京ノ章～(京都大学)
 第2位: 京都女子大学創作舞踊部(京都女子大学)
 四竹賞: 京炎 そでふれ!桜さくら(大阪)・京都市嵯峨野児童館(京都)
 3位以下且つ、おどり普及部と連携して育成された
 京炎 そでふれ!新規エントリー団体に贈る賞

◆芸術系大学作品展2009～ART UNIV.2009～

芸術系大学作品展は、京都の芸術系10大学の合同作品展です。大学の垣根を越えた学生、教員の交流促進、文化芸術による京都の活性化を目的としております。
 2009年度は、2000年の開始から10周年という記念の年を迎え、3会場で盛大に開催いたしました。

- 【展覧会名】芸術系大学作品展2009～ART UNIV.2009～
 アートの時代、デザインの時代
 【会期】2009年11月10日(火)～11月22日(日)13日間(キャンパスプラザ京都のみ12日間)
 【会場】キャンパスプラザ京都1階 情報交流プラザ 10:00～21:00 *16日(月)休館
 元・立誠小学校 12:00～19:00
 池坊短期大学 むろまちアートコート 12:00～18:30
 【主催】財団法人大学コンソーシアム京都 芸術系大学作品展実行委員会
 【共催】立誠・文化のまちプロジェクト運営委員会
 【出展大学】池坊短期大学、大阪成蹊大学芸術学部、京都市立芸術大学、京都教育大学、京都工芸繊維大学、京都嵯峨芸術大学、京都嵯峨芸術大学短期大学、京都精華大学、京都造形芸術大学、成安造形大学(以上、10大学)
 【協力】池坊短期大学、京都橘大学、京都駅ビル開発株式会社
 【後援】近畿経済産業局、京都府、京都市、京都商工会議所、社団法人京都経済同友会、京都 知恵と力の博覧会 推進協議会、全日本画材協議会、四条繁栄会商店街振興組合、京都新聞社、KBS京都、NHK京都放送局
 【協賛】株式会社フラットエージェンシー、ホルベイン工業株式会社、ホルベイン画材株式会社、有限会社画箋堂、ターナー色彩株式会社、ナカガワ胡粉絵具株式会社
 【出品数】キャンパスプラザ京都 53名 51点
 元・立誠小学校 94名 88点
 むろまちアートコート 37名 38点
 合計 184名177点
 【来場者数】キャンパスプラザ京都 1,837名
 元・立誠小学校 1,449名
 むろまちアートコート 550名
 合計 3,836名



関連イベント

- 1.オープニング・パーティ
 【日時】11月10日(火)18:00～19:00
 【場所】元・立誠小学校 職員室
 【参加者】約50名
 2.藤脇慎吾氏特別講演「わかるVI入門 - デザインとは?ヴィジュアル・アイデンティティとは?」
 【日時】11月15日(日)14:00～15:30
 【場所】キャンパスプラザ京都 4階 第2講義室
 【参加者】59名
 講演終了後、出展学生の代表による作品のプレゼンテーションを行い、講師の藤脇慎吾氏にコメントをいただいた。(参加者:42名)

◆第12回京都国際学生映画祭

京都国際学生映画祭は、学生が制作した自主映画を世界各地より集め、上映する機会を学生が創り出し、未来の映画人の発掘と養成を目的として毎年京都で開催する映画祭です。12回を迎える今年は、コンペティションプログラムに加えて、「摩擦」をテーマにジャンルを超えた映画や人々が出会い、刺激を受けるような特別プログラムを実施しました。



- 【開催日時】2009年11月21日(土)～28日(土)
 【来場者数】合計645名
 11月21日(土)～27日(金):京都シネマ 508名
 11月28日(土):立命館朱雀キャンパス5F大講義室(授賞式) 137名
 【実行委員数】45名(13大学)

コンペティションプログラム...応募作品247本中 入選作品12本を上映
 グランプリ作品...『Mother is a whore』 監督:Lee SangWoo(韓国)
 準グランプリ作品...『Martina and the moon』 監督:Javier Loarte(スペイン)
 『世界グッドモーニング!!』 監督:廣原 暁(日本)

特別プログラム

- ・「つみきのいえ」に至るまで～加藤久仁生監督学生時代を振り返って～
- ・加藤久仁生監督作品「つみきのいえ」etc上映&加藤久仁生監督トークショー
- ・「越境者たち」科学映画&芸術映画特集上映～
- ・「学生って何んだい? サイレント青春映画 活弁上映」
- ・最年少活弁士による活弁
- ・上映作品 小津安二郎監督『落第はしたけれど』

その他招待作品等上映

- ・最終審査員(伊藤高志氏、熊切和嘉氏、安岡卓治氏)作品上映
- ・京都国際学生映画祭実行委員会OB監督作品『へばの』上映
- ・第21回東京学生映画祭連携企画 グランプリ作品『シュナイダー』上映
- ・コンペティション特別プログラム(4本) 第11回京都国際学生映画祭入賞作品上映

詳しくは、財団法人大学コンソーシアム京都(<http://www.consortium.or.jp>)を参照してください。



京都学生アートオークション



京都学生アートオークション ~ Kyoto Student Art Auction ~

京都学生アートオークションは、京都の芸術系10大学の学生・大学院生が自分の作品をとおして社会に触れ、芸大生のキャリア形成の一助となることを目的として2006年度から開催し、今年で4回目を迎えます。

アートビジネスや知的財産法、プレゼンテーション演習といったバラエティに富んだ連続講座の受講、選考会を経て、出品学生と作品が決定しました。本年度は、京都市立芸術大学・京都嵯峨芸術大学・京都精華大学・京都造形芸術大学・成安造形大学より16名の学生が参加、26作品が出品されます。

開催日時 プレビュー 2010年2月9日(火)~2月14日(日)
10:00~21:00 最終日13:00まで

ギャラリートーク 2010年2月11日(木・祝)14:00~
オークション 2010年2月14日(日)15:00スタート

会場 キャンパスプラザ京都 1階 情報交流プラザ

主催 財団法人大学コンソーシアム京都

企画運営 京都学生アートオークションワーキンググループ

企画運営補助 京都学生アートオークション学生運営スタッフ

協力 株式会社AGホールディングズ、京都駅ビル開発株式会社

後援 近畿経済産業局、京都府、京都市、京都商工会議所、社団法人京都経済同友会、全日本画材協議会、京都新聞社、KBS京都

協賛 株式会社フラットエージェンシー、ホルベイン工業株式会社、ホルベイン画材株式会社、有限会社画箋堂、ターナー色彩株式会社、ナカガワ胡粉絵具株式会社

【出品作品】

Lot	作品名	氏名	大学名
1	鶏 図	服部 しほり	京都市立芸術大学
2	connect	山本 雄教	成安造形大学
3	にじむ	金河 愛子	京都嵯峨芸術大学
4	守りたいもの	改発 静香	京都造形芸術大学
5	オモイデ	服部 壮	京都精華大学
6	最期の姿	嶋岡 知美	京都嵯峨芸術大学
7	一期一会	稲垣 若菜	京都市立芸術大学
8	それらからの距離	吉田 周平	成安造形大学
9	呵呵大笑	前田 ミカ	京都嵯峨芸術大学
10	彼岸の夢	伊藤 なおみ	京都市立芸術大学
11	見捨てられ逝く物達2	鈴木 洋子	京都造形芸術大学
12	ぞうさん	前田 龍一	京都造形芸術大学
13	他人の視線を感じた時の私の行動	木下 由萌	京都嵯峨芸術大学
14	花の姫	松本 和子	京都市立芸術大学
15	exist	東村 有里	成安造形大学
16	自問自答	森田 絹	京都嵯峨芸術大学
17	抱 く	金河 愛子	京都嵯峨芸術大学
18	立	山本 雄教	成安造形大学
19	此处に亀居り	服部 しほり	京都市立芸術大学
20	見捨てられ逝く物達1	鈴木 洋子	京都造形芸術大学
21	漂 う	金河 愛子	京都嵯峨芸術大学
22	したかげの雨	伊藤 なおみ	京都市立芸術大学
23	静寂と光	嶋岡 知美	京都嵯峨芸術大学
24	ぞう	前田 龍一	京都造形芸術大学
25	神さまにささげるもの	松本 和子	京都市立芸術大学
26	working man	山本 雄教	成安造形大学

作品の詳細はホームページをご覧ください。 <http://www.consortium.or.jp/link/ksaa.html>

ビジネスマナー研修(基礎編)

ビジネスマナーは、社会人(大学職員)として身に付けるべき必須の事項であり、様々な立場の方と接する大学職員が、責任ある対応をするためにも必要不可欠な素養の一つです。この研修では、主に2010年に就職される初任者の方が、社会人としてのビジネスマナーの基本から電話応対やビジネス文書作成に至るまで、信頼を高めるビジネスマナーを習得することを目標としています。また、他大学の職員との交流と人的ネットワークの形成も目的の一つとしています。初任者に限らずビジネスマナーを習得したい全ての方のご参加をお待ちしております。

開催日時 2010年3月24日(水)、25日(木)、26日(金)、6月11日(金)
9:45~17:15

会場 キャンパスプラザ京都

募集人数 16名(但し、応募者が14名未満の場合は開講を中止することがあります。)

受講料 6,800円(加盟大学・短期大学)・11,800円(非加盟大学・短期大学)

募集期限 2010年2月18日(木)必着

「第15回FDフォーラム」開催のご案内

開催日 2010年3月6日(土)~7日(日)
会場 同志社大学 今出川校地
テーマ 学生の学びを支える - つなぐFDの展開 -
主催 財団法人大学コンソーシアム京都
後援 文部科学省・京都府・京都市

1日目に開催するシンポジウムのみ当日参加が可能です。(80席限定先着順)

シンポジウム

開催日 3月6日(土) 13:00~17:00(受付開始12:00)
会場 同志社大学 今出川校地 室町キャンパス 寒梅館
テーマ 学生の学びを支える - つなぐFDの展開 -

- 【シンポジスト】** 橋本 勝 岡山大学教育開発センター教授
 神保 啓子 名城大学大学教育開発センター主査
 圓月 勝博 同志社大学教育支援機構長文学部教授
 小田 隆治 山形大学高等教育研究企画センター
- 【コーディネーター】** 大塚 雄作 京都大学高等教育研究開発推進センター教授

【開催概要】 FD義務化の下、「FD」と称する研修機会は広く普及してきたが、FDのあり方についてはさまざまな課題が残されており、「実質的なFD」の実現が求められているところである。FDは、基本的に、学生の学びの活性化に結び付く必要があるが、それを実際にもたらし得るFDを「実質的」と呼ぶことができるであろう。しかし、大学がいかに「よい」教育環境を準備し、教員がいかに「よい」授業を準備したとしても、それだけで学生の学びが活性化するとは限らない。教育や学びは、そこに参加する者の双方向的なやりとりのなかで創り上げられていくものである。そこで、ここでは、それを表すひとつのキーワードとして、「つなぐ」ということに焦点を当ててみることにしたい。シンポジストより、学生・職員・教員・大学といったいくつかの相における「つなぐ」試みと可能性について話題提供いただき、フロア参加者との議論を通して、学生の学びを支える実質的なFDのあり方に迫る機会としたい。

申込期間

2010年1月15日(金)~2月3日(水)

【参加費支払締め切り:2010年2月14日(日)24:00まで】

加盟大学・短期大学 優先受付期間:2010年1月8日(金)~1月14日(木)

申込方法 今回より参加費は事前の支払いとなっております

STEP 1	STEP 2	STEP 3	STEP 3
ホームページからお申し込み	参加費のお支払い	参加許可証が届く	当日

<https://event.consortium.or.jp/fd15/>

もしくは

参加費

所属	所属	情報交換会含む	情報交換会除く
加盟 大学・短期大学	教職員	5,000円	3,000円
	学生	1,000円	無料
非加盟 大学・短期大学	教職員、一般	7,000円	5,000円
	学生	2,000円	1,000円

情報交換会

開催時間 3月6日(土) 17:30~19:00
会場 平安会館 東山の間
 (京都市上京区烏丸通上長者町上ル TEL:075-432-6181)
URL <http://www.heian-kaikan.com/>

龍谷大学短期大学部



龍谷大学は、1639年に京都・西本願寺に設けられた「学寮」に始まります。以来、親鸞聖人を宗祖とする浄土真宗の精神を脈々と受け継ぎ、7学部1短大、9研究科、4付置研究所を擁する総合大学に発展し、2009年度には創立370周年を迎えました。短期大学部は、その長い伝統の中で2番目に古い歴史を持ち2010年度には開設60周年を迎えます。専門知識と実践的能力の修得に向け多彩な教育プログラムを用意し、積極的に学が姿勢に応えます。

CAMPUS SCENE

ミニ・シンポジウム

会場:同志社大学 今出川校地
 新町キャンパス[尊真館・臨光館]
 日時:3月7日(日)10:00~15:30
 (受付開始9:30~)

■ 第1ミニ・シンポジウム 定員:200名

「学生の支えとなる
 キャリア教育の構築を目指して」

【コーディネーター】金谷 益道(同志社大学文学部英文学科学科准教授)
【報告者】松高 政(京都産業大学全学共通教育センター教授)/岩脇 千裕(労働政策研究・研修機構研究員)/森 邦昭(福岡女子大学文学部教授・キャリア支援センター長)

■ 第2ミニ・シンポジウム 定員:170名

「社会人を対象とした
 フルオンライン学習提供の可能性」

【コーディネーター】藤松 素子(佛教大学社会学部社会学部教授・教授法開発室長)
【指定討論者】篠原 正典(佛教大学教育学部教授)
【報告者】松居 辰則(早稲田大学人間科学学術院人間情報科学科教授)/中野 裕司(熊本大学大学院社会文化科学研究科教授システム学専攻教授)/不破 泰(信州大学大学院工学系研究科教授)

■ 第3ミニ・シンポジウム 定員:270名

「FDを推進、支援する
 トップマネジメントの役割」

【コーディネーター】深野 政之(京都FD開発推進センター専門研究員)
【報告者】清水 稔(佛教大学副学長)/河野 勝彦(京都産業大学副学長)/久保 哲男(京都外国語大学副学長)
【指定討論者】池田 輝政(名城大学副学長理事)

分科会

会場:同志社大学 今出川校地
 新町キャンパス[尊真館・臨光館]
 日時:3月7日(日)10:00~15:30
 (受付開始9:30~)

■ 第1分科会 定員:50名

「2年次以降につながる
 初年次教育」

【コーディネーター】藤枝 真(大谷大学文学部准教授)
【報告者】木越 康(大谷大学文学部准教授・学生部長)/本田 康二郎(同志社大学商学部講師)/杉谷 祐美子(青山学院大学教育人間科学部准教授)

■ 第2分科会 定員:50名

「講義の復権
 理論・実践からの分析」

【コーディネーター】國安 俊彦(京都外国語大学・短期大学キャリア英語科准教授)
【指定討論者】村上 正行(京都外国語大学マルチメディア教育研究センター准教授)
【報告者】安川 哲夫(筑波大学大学院人間総合科学研究科教授)/梶川 裕司(京都外国語大学マルチメディア教育研究センター副センター長教授)/大島 武(東京工芸大学芸術学部准教授)

■ 第3分科会 定員:50名

「地域連携が大学教育に
 もたらすもの」

【コーディネーター】三浦 潔(京都文教大学人間学部現代社会学科教授)
【報告者】真鍋 和博(北九州市立大学地域創生学群准教授)/尾吉 廣行(松本大学副学長)/齊山 美津子(神戸女子大学文学部教育学科教授)

■ 第4分科会 定員:50名

「学生による授業アンケートの
 理論・手法・活用」

【コーディネーター】松本 和一郎(龍谷大学理工学部教育センター長)
【報告者】大塚 雄作(京都大学高等教育研究開発推進センター教授)/福永 栄一(大阪成蹊大学現代経営情報学部准教授)/小田 隆治(山形大学高等教育研究企画センター)

■ 第5分科会 定員:50名

「教養教育の再構築」

【コーディネーター】秋澤 雅男(京都薬科大学一般教育分野教授)/野田 四郎(京都ノートルダム女子大学人間文化学科学科教授)
【報告者】奥田 雅信(大手前大学総合化学部准教授)/菊池 重雄(玉川大学経営学部国際経営学科学科教授・学士課程教育センター副センター長)/慈道 裕治(立命館大学政策科学部教授教養教育センター長)

■ 第6分科会 定員:50名

「芸術系領域における
 教育の可能性」

【コーディネーター】高橋 伸一(京都精華大学文学部教授・共通教育センター長)
【報告者】竹宮 恵子(漫画家・京都精華大学マンガ学部部長教授)/樺 昇(現代美術家・京都造形芸術大学芸術学部 教授)
【指定討論者】吉田 文(早稲田大学教育・総合科学学術院教授)

■ 第7分科会 定員:50名

「障がい学生支援の実践と課題」

【コーディネーター】中野 智世(京都産業大学経営学部准教授)
【報告者】土橋 恵美子(同志社大学学生支援センター障がい学生支援室学生支援室コーディネーター)/佐野(藤田) 真理子(広島大学大学院総合科学研究科教授・アクセシビリティセンター長)/石田 久之(筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター教授特命学長補佐(学生支援SD担当))

■ 第8分科会 定員:50名

「高等教育の多様化ニーズと
 短期大学の課題」

【コーディネーター】今井 薫(京都産業大学リエソノオフィス長・法務研究科教授)
【報告者】鳥丸 佐知子(京都文教短期大学幼児教育学科准教授)/新島 陽子(京都文教短期大学教務部教育研究支援課係長)/塚本 泰造(宮崎学園短期大学FD推進委員長准教授)/佐藤 清彦(湘北短期大学事務局次長教務部長)

■ 第9分科会 定員:60名

「双方向型授業への誘い」

【コーディネーター】木野 茂(立命館大学共通教育推進機構教授)
【報告者】梅村 修(進手門学院大学国際教養学部アジア学科学科教授・教育研究所所長)/大崎 雄二(法政大学社会学部メディア社会学科教授)/杉原 真晃(山形大学基盤教育院准教授)